

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほっこりの里 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 1日		令和8年 3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2	(回答者数) 2	2
○従業者評価実施期間	令和8年3月 1日		令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数) 7	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ●対象児童が未就学児～小学6年生までとしているので、同じ年齢層とお子さん同士の関わりで安心にも繋がる。 ●事業所内はバリアフリーの床面で、安全に移動できる環境となっている。 ●支援室にはシングルサイズのマットレスを設置し、休息が必要な児童が落ち着いて過ごせる環境を整えている。 ●感覚遊びが得意な児童が多いため、エクササイズ用トランポリンを設置している。 ●個別対応や体調不良時に利用できる静養室も完備している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●集団での環境下で年齢層の幅がひろいと、成長に見合った活動プログラムの提供が難しいが、対象を定めることで、適正な療育、支援を行える。 ●視覚的支援を重視し、PECSや絵カードを活用して児童の意思表示をサポートしている。 ●季節行事を取り入れ、日本の四季を感じられる空間づくりを行っている。 ●聴覚過敏や個室を必要とする児童には静養室を提供し、気分転換の場として活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●より、対象児童の年齢層に合わせた療育、充実したプログラムを行う。 ●児童が安心して過ごせる居場所として、環境の維持・向上に努める。 ●様々な課題に対して、適切な支援を行えるように、従業者の専門性を高めていく。

2	<ul style="list-style-type: none"> ●通所導入の段階で、ご家族との打ち合わせを密に行い、低年齢のお子さんに合わせた、利用時間の設定を行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●園や幼児教室など双方の見学を行い、これまでの支援を共有し、お子さんの成長を一貫してサポートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童が混乱しないよう、支援者間で情報共有を徹底し、統一したサポートを行う
3	<ul style="list-style-type: none"> ●家族支援として給食提供を行い、家庭の負担軽減に寄与している。 ●必要に応じて面談や電話相談を実施している。 ●クリスマスには保護者にもプレゼントを渡し、イベントを楽しんでもらえる工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●給食では、野菜が苦手な児童でも一口は食べられるよう調理方法を工夫している。 ●半年に一度の面談に加え、必要時には緊急面談や電話相談にも対応している。 ●毎年、保護者がほっこりできるようサプライズプレゼントを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者の家事・育児負担軽減と児童の栄養バランス向上を目指し、給食の質を維持・向上させる。 ●必要に応じて面談や電話相談を継続して行う。 ●今後も保護者へのクリスマスプレゼントを継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ●支援終了後の打ち合わせや振り返りが十分に行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の出退勤時間にずれがあり、時間を合わせにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報共有のための仕組みを整備し、チームとしての連携を強化する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者会の活動支援や、兄弟同士の交流の場を十分に提供できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ほっこりフェスティバルは開催しているが、保護者や兄弟同士の交流につながる働きかけが不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●SNSやお知らせを活用し、きょうだいの参加率を高め、交流の機会を増やす。
3	<ul style="list-style-type: none"> ●事故防止・緊急時対応・防犯・感染防止などのマニュアルが保護者に十分周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●マニュアル説明の機会を設けていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●半年に一度の面談時にマニュアル説明を行い、周知を徹底する。